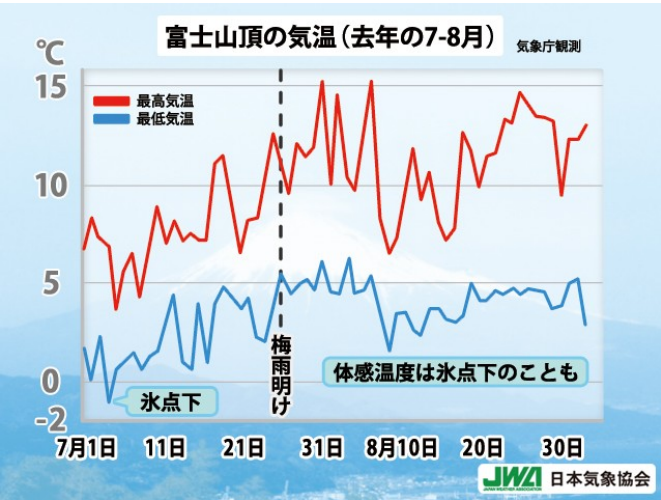


猛暑の夏は涼風を求めて夏山登山にでかけよう

今年は梅雨明けが早く、7月のはじめから晴天が続き猛暑になっています。暑い夏は、涼風を求めて夏山登山にでかけませんか。ただし山では日射しが強く、晴れた日中は暑さを感じますが、強風や悪天の時は体感温度がかなり低くなります。世界遺産に登録された富士山の山頂は、2012年夏に最低気温が氷点下になった日があった一方、最高気温が15℃を超える日もありました。

山の天気は変わりやすいので最新の気象情報を確認し、無理のない安全な登山を心がけましょう。日本気象協会では、山の気象観測情報やふもとの天気予報、週間予報を天気総合ポータルサイト「tenki.jp (http://tenki.jp)」と携帯公式サイト「気象協会晴曇雨 (http://n-tenki.jp/)」で提供しています。登山の計画に、どうぞご利用下さい。(日本気象協会 小田 美穂)



会員名簿

(敬称略) (個人会員名簿は公開していません)

- 特別顧問 : 丹羽 晨(元理事長、日本空港ビルデング顧問)、丸山 博(元国土交通審議官)、本保 芳明(初代観光庁長官)
- 理事長 : 大島慎子(筑波学院大学学長)
- 副理事長 : 岡村進(元小田急トラベル社長)、横山善太(元㈱JALUX特別顧問)、須田寛(東海旅客鉄道相談役)
- 加納隆(元朝日新聞経済部記者)
- 事務局長 : 杉行夫(理事)、事務局次長: 堤るり(理事)
- 支部長 : 片山文彦(新宿)、魚住隆彰(北陸)、麓理沙(立教)、長尾亜夫(九州)、須田寛(中部)、岩田弘三(神戸)、坂本眞一(北海道)、梅原利之(四国)、

【団体会員】(2013年07月26日現在)

AGC硝子建材エンジニアリング(株)、㈱朝日ネット、(有)青葉、㈱アドルックス、㈱アルビオン、荒井建設(株)、アンデス電気(株)、安藤建設(株)、イーエムティー(株)、池田煖房工業(株)、㈱伊勢丹、富山県射水市、㈱井六園ワールド、岩田地崎建設(株)、㈱えんれいしゃ、(財)NHKインターナショナル、NPO「江戸城再建を目指す会」、㈱大林組、隠岐の島町(島根県)、㈱奥村組、小田急電鉄(株)、小田急トラベル、鹿島建設(株)、鹿島道路㈱東京支店、大阪国際空港ターミナル(株)、㈱大塚食品、環境テクノス(株)、関西電力(株)、九城企業(株)、㈱九電工東京支店、九州電力(株)、九州旅客鉄道(株)、㈱熊谷組、(社)くらしのリサーチセンター、㈱グリーンキャブ、群馬県、京浜急行電鉄(株)、㈱耕人舎、佐川アドバンス(株)、㈱サマンサバザジャパンリミテッド、三協立山(株)、三普旅行社有限公司、四国電力(株)、四国旅客鉄道(株)、清水建設(株)、㈱JAL-DFS、㈱JALUX、㈱JTB、消音技研(株)、新菱冷熱工業(株)、㈱センインターナショナル、常磐興産ピーシー(株)、住友電設(株)、(有)西洋館センター、竹内印刷(株)、㈱銭高組、全日本空輸(株)、パーキングプロ(株)、セントラルリーシングシステム(株)、㈱ダイエーコンサルタンツ、第一交通産業(株)、第一資材(株)、㈱大気社、大興物産(株)東京支店、大成建設(株)、大成有楽不動産(株)、大成設備(株)大成ロテック(株)、大成ユーレック(株)、大鉄工業(株)北陸支店、大日産業(株)、㈱高商、高砂熱学工業(株)、㈱竹中工務店、㈱丹青社、中国電力(株)、中部電力(株)、TCTレーディング(株)、㈱哲建、電研工業(株)、東海旅客鉄道(株)、東急建設(株)、東京急行電鉄(株)、東京国立博物館、(財)東京観光財団、東京電力(株)、東光電気工事(株)、東芝エレベータ(株)、医療法人社団同友会、トヨーカッツソリューションズ(株)、戸田建設(株)、名古屋鉄道(株)、西日本鉄道(株)、西日本旅客鉄道(株)、㈱西原衛生工業所、西松建設(株)、日墨ホテル投資(株)、日本オース・エレベータ(株)、㈱日本海コンサルタント、日本空港ビルデング(株)、㈱日本航空インターナショナル、(財)日本交通文化協会、(社)日本添乗サービス協会、㈱日本プラント建設、専門学校日本ホテルスクール、㈱ニューテック、ネスレ日本(株)、箱根町(神奈川県)、箱根建設(株)、羽田旅客サービス(株)、東日本旅客鉄道(株)、㈱日立ビルシステム、㈱日立製作所、広島電鉄(株)、福岡空港ビルディング(株)、㈱パロクジャパンリミテッド、㈱フィールドサービス、富士機材(株)、藤長電気(株)、富士通(株)、ブライネットワークス(株)、北海道旅客鉄道(株)、北海道電力(株)、北陸電力(株)、北海道空港(株)、㈱ホテル小田急、㈱ホテルモロホリタ、前田建設工業(株)、㈱ホテルマルックス、マイナホールディングス(株)、㈱まるまんワイアー、三井住友建設(株)東京建築支店、三菱電機(株)、㈱山武ビルシステムカンパニー、有楽土地(株)、横浜貨物総合(株)、横浜ビル建材(株)、㈱ランゲージネット、菱重輸送機エンジニアリング(株)、りんかい日産建設(株)

特定非営利活動法人(NPO)

人と都市・観光の地球時代を、市民が支えます

JAPAN NOW 観光情報協会

〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-58-13

小田急代々木ビル3F

電話 03(5304)9500

FAX 03(5304)5632

E-mail info@japannow.org

Home page http://www.japannow.org

発行人：大島慎子(JN協会理事長)

編集長：加納 隆(JN協会副理事長)

発行部数：3000部 主な配布先：会員、中央官庁、地方自治体、民間企業、マスコミなど

編集後記

JN協会の活動を少しPRする機会があった。山口県の地元民放「山口放送」のラジオ番組で、7月中旬の2日間、約20分の電話インタビュー、生放送である。「観光情報協会って、どんなことをしているのですか」から始まったアナウンサーの質問。設立当時から、現在に至るまでの、フォーラム開催、セミナー、情報紙の製作など説明。「なぜ、いま観光なのですか？」に対しては、人口減少時代に入りつつあり、地域の活性化を目指すには交流人口を増やす以外にない。日本人対象にとどまらず、世界的各地から日本に来てもらいたい。この人たちとの交流が、平和につながっていくし、国際収支の悪化(観光収支の大幅赤字)を食い止めることにもなる、などと語った。

最後に「山口県に対する提言は？」と聞かれ、山口には秋芳洞、萩、錦帯橋などの観光資源はあるが、観光客の受け入れ方が修学旅行、団体旅行対応スタイルから脱却しきれていない。明治維新の志士たちの足跡を辿る街道観光など、家族や個人客も行きたいと思うような仕掛けが必要、と述べた。最後に、高杉晋作が好んだ漢詩『将に東遊せんとして、壁に題す』(釈月性)「男児志を立てて郷関を出ず・・・人間到る処、青山有り」と詩吟をひとくさり。(加納)

人と都市・観光の地球時代を、市民が支えます！

NPO法人

JAPAN NOW 観光情報協会

Non-Profit Organization JAPAN NOW TOURISM INFORMATION ASSOCIATION

東京都知事が認証した「都市・環境・観光NPO」が発信する隔月刊情報紙

第90号 発行日2013年07月26日

Contents

- 観光白書、JN協会名古屋で講演開催へ ——— 1
- 「海事・観光立国フォーラムin青森」の内容 ——— 2
- 震が関情報JATA、鉄道と観光⑨ ——— 3
- アメリカこぼれ話26、誇り高きアイリッシュ ——— 4
- 佐渡の自然と観光、COLUMN「立ちション」 ——— 5
- 城下町「平戸城」、NEWSPOT「寒天レシピ」 ——— 6
- 提案「教育委員会のあり方」 ——— 7
- お天気の話「夏山登山」、編集後記 ——— 8



青森ねぶた祭り 8月2日から7日まで。市内を練る多数の「ねぶた」(飾り山車)を、「ラッセラー、ラッセラー」の声に合わせ、跳人(ハネト)が盛り上げる。

「観光後進国」から「観光新興国」へ 平成25年度観光白書が指摘

観光庁は6月、50号にあたる「平成25年度観光白書」を公表した。その前文で「観光新興国」という言葉を使っている。日本は、長らく工業先進国と自認してきたが、観光に関しては、やっと「後進国」から「新興国」に向かう段階に過ぎないとの認識である。

それは、数字にによく表れている。24年度の外国人客は827万人で、フランスの約10分の1。世界39位であり、お隣の韓国が1000万人を突破していることと比べても、まさに「後進国」。一方、日本からの出国者は1849万人と、過去最高。観光収支は、大幅な赤字を続けているのである。

国内観光客を見ると、1億8千万人弱で、これは東北大地震前の水準を上回っている。ただ、東北6県の観光客は、全国平均を下回っている。

さて、どうやって海外から観光客を招くか、白書はいくつかのポイントを挙げている。・魅力ある観光地づくり ・入出国手続きの簡素化 ・ガイドの充実 ・首都圏空港の機能強化 ・東南アジア諸国への情報発信の充実一などであり、最大の目玉は「2020年オリンピック誘致」となっている。

白書を通読して、感じたことを述べると、なぜ日本はアジアでも8位の後進国なのか、分析が十分でない感がある。韓国とどう違い、差が出たのか、きちんと示して欲しかった。また、中国、韓国からの観光客が、領土問題の影響を受けているが、これを指摘するのは、政府の白書ではムリなのだろう。

JN協会が10月名古屋で「観光立国」講演会 理事の担務を確認、会員増強を目指す

JAPAN NOW観光情報協会(大島慎子理事長)は7月17日、企画委員会を開き、7月22日の青森市(別稿)に続き10月1日午後、「観光立国」講演会を中部広域観光推進協議会との共催で開催することを決めた。

場所は、名古屋商工会議所ホール。須田寛・JN協会中部支部長が「街道観光」について、大島理事長が「国際観光のPR戦略」(仮題)、三田敏雄・広域観光協議会会長が「昇龍道プロジェクトの今後の展開」について講演する。

また、JN協会理事の責任担務を確認した。(財務経理担当)岡村副理事長、(広報)加納同、(総務・事務局)杉理事事務局長、(会員増強)大島理事長以下全理事、(フォーラム開催)須田副理事長、堤事務局次長、(セミナー)寺前理事、杉理事。

また、ホームページの充実などインターネット活用(Facebookなど)の推進、会員増強の促進を目指し事業案内を改定する、などを確認した。

新しい試みとして、NHKインターナショナル等との連携で「能楽などの韓国公演」を具体化する検討を進める。担当は、堤理事。

「海事・観光立国フォーラムin青森2013」開く

日本海事センター(小幡政人会長)は、7月22日、青森市のホテル青森で、「海事・観光立国フォーラムin青森2013」を開催。青森港湾研究協会、NPO法人「JAPAN NOW観光情報協会」の共催。

国土交通省の田端・鉄道局次長ら三氏が、記念講演を行った。(会の模様と講演の概略は二面に掲載)

「青森ねぶた」とクルージング 海事・観光立国フォーラムで三氏が公演

青森市のホテル青森で開いたフォーラムは、主催者の公益財団法人『日本海事センター』の小幡政人会長の挨拶でスタート。小幡会長は「港と航路を活かすことが青森の生きる道」と青森にエールを送った。引き続き三村申吾県知事のメッセージを副知事が代読。鹿内博青森市長は、青森ねぶたのハッピー姿で壇上に立ち「当面は8月2日からの青森ねぶた成功に全力を傾ける。そして、そのエネルギーを外航クルーザーの誘致に向けていく」と力強く語った。

このあと、三氏が満員（200人超）の来場者を前に講演。講演終了後、懇親会が開かれた。以下は、講演の概略。

大きい新幹線開業効果

田端 浩氏（国土交通省鉄道局次長）
観光庁観光地域振興部長を務めたことがある田端氏は「青森の物流と観光の発展に向けて」と題して講演。東北新幹線の新青森への延伸効果が、八戸―青森間の乗客数22％増となって表れていることを指摘。新青森から新函館駅へ延びると、その効果がさらに拡大することを示唆した。

また物流面では、青函トンネルを経ての物資の動きが、青森―北海道間で増え、東北6県・北海道間の18％（出荷）、14％（入荷）を占める重要拠点になっている、と説明。地の利を生かし拡大の道を探ることを求めた。

また、外航クルーザーの青森港への寄航はまだ全国重要港湾のベスト10に入っていないが、青森港の埠頭増強や安部内閣のクルーズ振興策で、青森港のベスト10以内への食い込みは間違いないと述べた。

10年がかりで巨大クルーズ船誘致に成功

鳥谷部 眞実氏（青森港湾研究協会会長）
「青森港のクルーズ客船誘致と青函航路の魅力」について語った鳥谷部氏は、2003年夏に完成した新埠頭の効果と翌年4月に初参加した「マイアミ・クルーズ・コンベンション」の成果として大型外国クルーズ客船の青森寄港が目に見えて増えている状況を説明。そのために、若手で作っている港湾研究会が、クルーズ船会社へ働き掛け続けた苦労話を語った。なかでも巨大なクルーズ船『ダイヤモンド・プリンセス号』の寄航実現に10年かけた、と述べた。
世界的には、カリブ海、地中海など欧米中心だったクルーズの寄港地が、21世紀にはアジアクルーズ時代になる傾向が顕著になってきているという追い風の中で、青森には夏の『ねぶた』、雪の八甲田山周辺、春の弘前城のサクラなど、観光資源は豊富なので、見通しは明るい。そのためには、青森港埠頭の更なる拡充を働きかけるとともに、誘致に向け絶え間ない努力を続ける、と力強く語った。

川下からの目線で観光振興を！

新井 良亮氏（ルミネ社長）

J R 東日本の副社長も務めた新井氏は、いま小売り関係の仕事に就いている経験から、お客様の立場に立った見方で物事を考える姿勢の重要性を強調した。とくに、リッチなシニア層、新しく良いモノに飛びつく若い女性にターゲットに絞る戦略を考え強化する必要性を感じている。

「“創動”と言っているが、モノを買っていただくには、自ら主体的に考え動くことが大切」と述べる。高齢化や少子化は商売から見ると、マイナス要因とされるが、そのマイナスをプラスに転じる発想が必要だと強調する。

これを観光振興という観点でとらえると、「青森は寒い、雪が多い」などマイナス面が言われるが、「とくに東南アジアの人たちは、厚着する機会がない。そこで寒い冬の青森に来ていただき、冬物を着る機会を持って頂く、そしてスキーウエアで楽しんでいただく。それが、逆に売り物になるのではないか」という。これは「体験型観光と言えるが、滞在型観光にもつながる。そのためには、おもてなしの心を磨き、市民参加型の観光客対応を進めることが大切だ」と提言する。

箱根で外国人相手の民宿を経営

富士箱根ゲストハウス代表の高橋正美氏

ある勉強会で過日、箱根に行き主として外国人を対象とする民宿を営む高橋さん（写真下）の話を聞いた。
B B方式（宿泊、朝食のみの提供）で、一人5000円均一。「ホームステイ感覚で家族だけで対応する」という。開業して29年、その間に75ヵ国11万人が利用した。ほとんどが、インターネット経由の予約。利用者の90％は外国人、10％の日本人もエスコート役だそうだ。

順風満帆にも見えるが、「3. 11の東北大地震、津波、原発事故のあとは、前年比90％減という悲惨な状況に陥った」という。しかし、今年4月ごろから、急激に進んだ円安、格安航空（LCC）の普及もあり、急に外国人宿泊客が増えたと実感している」と高橋さん。

ここまでの道のりは、決して平たんではなかった。開業当初は食事をする場所が近くにないし、カード使用を認める飲食店もほとんどない。高橋さんは、頻繁にレストランや食堂に足を運び、外国人向けのレシピ作りや簡単な会話などを教え、カード利用を薦めた。いまは、ほとんど不便が無くなったと言う。そのためか、口コミで来てくれる客も増えている。

富士山が世界文化遺産に登録された。追い風に見えるが、外国人が来たがる桜シーズンには、富士がすっきり見えることが少ない。「冬の富士は綺麗ですよ」と言っても、今度は寒さが厳しい。晩秋から早春にかけての期間に、いかに来ていただけるかが、ポイントとなる。そのため、同業者と語らって、富士登録を機に御殿場線―東京から直行できる便を作ってもらうことを、J Rなどに働きかけているという。ご健闘を祈りたい。（加納）



NPOから提案します

教育委員会のあり方について

J N協会理事 寺前 秀一（加賀市長）

橋下・大阪市長等の批判にはじまり教育委員会制度が社会的話題となっています。全国市長会でも話題となり、教育委員会が選定した歴史教科書に不満を持つ市長が、教育行政につき政治的責任をもつ首長直轄事務とすべきと発言しました。

教育委員会の現実のいじめ問題への対応ぶりに問題意識を持つ津市長は、訴訟になると教育委員会ではなく市長が当事者になるのであるから、国における文部科学大臣と同様、自治体でも首長に権限を持たせるべきと主張しました。

津市長の隣に座った関係で、つられて私も手を挙げ、目標は同じであるものの、津市長の教育委員会に関する意見には反対の旨発言してしまいました。義務教育の権限を市長に持たせたところで、公立学校教師の人事権が県レベルにある現在の体制では、いじめ問題等に責任をもって対応できないからです（なお、訴訟で市議会が訴えられても形式的には市長が当事者になりますので、この点については

観光立国セミナー

第89回「ななつ星in九州」（2013・6・21）

九州旅客鉄道取締役クルーズ・トレイン本部長 日高 淳一氏

J R九州は今年10月15日から、豪華寝台列車「ななつ星in九州」で九州周遊型の旅をスタートさせる。日本初の試み。3泊4日と1泊2日の2ルート。「ななつ星」とは、個性豊かな九州7県・代表的な7つの観光資源・7両編成の客車・北斗七星にちなむ命名。14年3月まで（1期、2期）はすでに募集が終わっており、15万円から55万円という料金にもかかわらず、平均8. 5倍という人気を呼んだ。

日高氏は、この新しい試みが、どうして生まれたかについて詳しく説明、九州観光の振興に役立ち、かつJ R九州の経営にプラスにしていくな意気込みを語った。

第90回「イスラエルにみるビジネスの原動力」

駐日イスラエル大使館 商務官 綾尾 健嗣氏

四国ほどの国土、800万足らずの人口だが、イスラエルのビジネスは、I T関係中心に力強い。政府主導で1993年に始まった「YOZMA」プログラムで、ベンチャーキャピタルへの投資がスタート。I T関係中心の企業が力をつけると、純粋の民間企業となり、身売りして資金を獲得、また起業する。最近では、グーグルへ1000億円で売却した例も。3年間の徴兵生活で身に付けた技術がベンチャーで生きる。まさに産軍共同社会ともいえる。

セミナー予定

- ・91回 8月9日（金）正午 東京・麴町海事センター
講師 須田アルナローラ氏「インド式インテリジェンス」
- ・92回 9月13日（金）正午 海事センター
講師 金丸弘美氏「食と観光の新しい動き」

JN協会主催の観光立国セミナーのこれまでの講演内容は別途、原文のまま印刷物とし、事務局に保存してあります。

大津市長の意見には賛成できません）。

従って都道府県と基礎自治体の教育体制の在り方を先に議論すべきと主張しました。アメリカ流の合議体による法的機関は、議会と裁判所を除き、なかなか日本では定着しません。

しかし、ゆとり教育かスパルタ教育か、飛び級を容認すべきか否か、数学や歴史の教科書はどうあるべきか等は、人生観に関わるところでもあり、正解が一つとは限らないのですから、合議体による意思決定が賢明な方法であります。熟議に基づく教育委員会の決定は、議会も首長も尊重すべきです。

加賀市長との意見交換会において、加賀市教職員組合は橋下市長の意見に反対の者が圧倒的でしたから、市長より前に、五人の教育委員との丁寧な意見交換会をもつべきと申しあげました。加賀市議会では、教育委員会活性化のため、重要政策案件については、常勤の教育長ではなく、非常勤ではあるものの代表者である教育委員長が答弁することにより、意識改革をしていただくようにしています。

× × ×

★ 南三陸町でボランティアを！

各地の話題

3・11大地震・津波で甚大な被害を受けた東北地方の視察、ボランティア参加プロジェクトは多数あるが、そのうちの一つ「被災地で学ぼう ― 南三陸」を紹介する。
毎週土日、日帰りと一泊二日の2タイプがある。仙台駅からバスで南三陸に向かい、被災状況の説明を受ける。このあと仮設コンテナ商店街で買い物等。一泊二日組は町内の宿に泊まり、翌日は復旧作業の手伝い。
費用は18,000円から20,000円。問い合わせは、「<http://united-earth.jp>」へ。

★ テロ対策特殊装備展など

イスラエルの企業10～15社は、10月2日～4日まで、東京ビッグサイトで開く「東京国際航空宇宙産業展」と「テロ対策特殊装備展」「危機管理産業展」に出展する。イスラエルは、I T産業が発達しており、かつテロ対策は世界史高水準の実力を有する。
詳細はイスラエル大使館経済部（03-3264-0398）。

☆ まつえ夏旅・観光月間（花火大会）

島根県松江市は、7～9月を「まつえ夏旅・観光月間」として、数々の催しを計画。なかでも目玉となるのが、8月3～4日に開く「湖上花火大会～松江水郷祭」。宍道湖に浮かべた2艫の船から、9000発の花火を打ち上げる。
同時に、松江青年会議所中心に、松江市役所駐車場に屋台を並べる「松江だんだん祭り」も、3～4日午後開かれる。詳細は、松江市のホームページ
「<http://www.city.matue.simane>」をご覧ください。

★ 市川に「文学ミュージアム」オープン

千葉県市川市は7月20日、「文学ミュージアム」を開館した。開館記念特別展は、市川を代表する文豪「永井荷風」のすべて。10月14日まで。観覧料は大人400円、高・大生200円、中学以下無料。市川市鬼高1-1-4メディアパーク市川内（TEL047-320-3334）。

城下町と観光 - 33

長崎県・平戸城

安土桃山時代に松浦鎮信が築く

オランダ商館跡が残る港町

J N協会参与 長宗我部 友親

平戸の港はポルトガルとの貿易が早くから行われていた場所である。平戸の城下町には、その貿易を進めた旧平戸藩主の松浦氏の屋敷跡があり、その近くにはカトリック教会の塔も見受けられ、異国情緒が漂う。

平戸藩は平戸松浦氏の第26代当主である松浦鎮信（まつら・しげのぶ＝法印）が、立藩した。鎮信は松浦隆信の長男で、平戸法印とも呼ばれた。永禄11年（1568年）に、家督を譲られ、一時は九州で勢力を伸ばしていた龍造寺隆信の膝下に入るが、その後秀吉の九州平定の戦に参陣し、それによって平戸の所領を安堵される。

慶長5年（1600年）の関ヶ原の戦いでは、長男の松浦久信が西軍の石田三成方について伏見城攻めなどに加わったが、鎮信は徳川家康に与することを決め、その旨を伝えたために、かろうじて平戸藩を守った。

平戸城は松浦鎮信が安土桃山時代の末期に築いた。亀岡城とも呼ばれ、三方を海に囲まれて、それを天然の堀としてい



NEW SPOT

in japan 39

寒天レシピ15

長寿男女日本一になった長野県で健康食品の代表格「寒天」を一層普及PRしようと製造業18社で組織する寒天組合（長野県寒天水産加工業協同組合）が「夏に美味しい寒天ひんやりレシピ」15点を7月4日発表した。「はじめませんか？寒天生活」サイトも開設し、「冷しゃぶサラダ」「冷製茶碗蒸し」「海鮮とコンソメジュレ」「エスニック炒め」「ヘルシーそばめし」「冷麺風ところてん」など食欲をそそるメニューが並び、「シャンパンゼリー」「ガリガリ寒天アイス」などドリンク、デザートレシピも紹介する。

てんぐさ

寒天は食物繊維が豊富で天草など海藻を煮溶かし冷やし固めたところてんを乾燥した保存食。中国伝来のところてんが京都で寒天に生まれ変わり、170年ほど前、製法を学んだ行商の小林栄左衛門が寒冷で水がきれいな郷里の信州・茅野で作り始めた。

る。その丘の上に本丸が築かれている。だが、慶長18年（1613年）には鎮信みずからが、城に火を放って、焼き払っている。

これは、長男の久信が死んだためにその悲しみのあまりの所業といわれているが、松浦家が秀吉との親交が厚かったために、徳川幕府に嫌疑を掛けられていてそれから逃れるためだったともいわれている。とにかく、このときに天守は焼失した。

現在は復元された天守があり、当時のものは石垣と櫓の一部が残っているのみである。また、城下町の平戸港の辺りには、名産の飛魚（あご）などが干されていて、のどかな風情がある。オランダ商館跡などが国指定の史跡となっている。日本にキリスト教を伝えたフランシスコ・ザビエルも平戸にやってきた。



寒天組合レシピで筆者が作った「トマト寒天のガスパチョ」

いま家庭向け角寒天は信州で、和菓子など業務用の糸寒天は岐阜が主産地だ。韓国、モロッコなどから輸入も増えた。

国産全国一の茅野市は2006年に2月16日を「寒天の日」と定め、JR中央線茅野駅西口広場に「寒天モニュメント」を建てた。角寒天のイメージで高さ2.5mのガラス製角柱が3本並び、毎夕自動的にライトアップする。近くには「信州寒天元祖の碑」がある。寒天の保管庫だった3階建て木造土蔵造りの寒天蔵は、いま演奏会や落語会、盆踊り、フリーマーケットなど地域に欠かせない文化拠点だ。

(文・写真 林 莊祐)

東京
震が関発の最新情報
国土交通省・総務省・財務省

2020年オリンピックがどこに決まるか9月7日に決まる。直後開く「J A T A旅博2013」は最大の規模で13万人以上が来場の予定

日本旅行業協会事務局長兼旅博推進室長
越智良典氏



広島県出身。75年早稲田大学政経学部卒。近畿日本ツーリスト入社。神田法人旅行支店長などを経て05年3月執行役員海外旅行部長兼中国開発部長。08年3月専務旅行事業開発本部長。10年12月ユナイテッドツアーズ社長。13年6月現職。60歳。

ー最初にJ A T A(日本旅行業協会)の旅博について説明してください。

このイベントは海外旅行の需要を喚起するために1977年にスタートしました。33年目の今年は時期的に言うと2020年にオリンピックが東京に決まるかどうかの9月7日の後の9月12日から15日まで東京ビッグサイトで行います。今では海外旅行だけでなく、訪日・国内旅行を含む旅行市場の活性化を目的とした総合イベントとなっています。

旅博は、国内を始め、150を超える国や地域からブースが出展される展示会、国際観光フォーラム、インバウンド・アウトバウンドの国際商談会などで構成されています。業界関係者だけでなく、一般の人々も楽しんでいただけるイベントで、今年は13万人の人が来場すると見込まれています。アジア最大級の規模と実績を誇る観光イベントに育っています。

ー2013年旅博の特徴や目玉はどんなことでしょうか？

今までは3ホールで展示をしていたのを今年は1ホール増やして4ホールで展開します。その中に東北6県の復興支援のコーナーや、旅行商品販売コーナーも作ります。一般来場者を対象とした講演会では『旅で示そう 日本の元気』を地で行った冒険家の三浦雄一郎さんや宇宙飛行士の毛利衛さんに話してもらいます。

12日の前夜祭は芝増上寺で行います。出展者や各国の招待者に、日本の伝統・文化を体感できるような演出をします。

ーアジアの人たちが豊かになって日本に來たり、欧米に行ったりしていますが、こうした旅行の市場分析について何かしますか？

アジアの人たちがどんどん旅行するようになり、日本の旅行会社はこうした状況を把握していく必要があります。そのために今回の国際観光フォーラムでは、『アジア旅行市場分析』をテーマに、パネルディスカッションを行います。国連世界観光機関のタレブ・リファイ事務局長にもお越しいただいてお話いただく予定です。

またJ A T Aは、訪日旅行の品質向上を目指して『ツアーオペレーター品質認証制度』を始めました。第1回の申請で、23の旅行会社が認証を受けましたが、訪日旅行のリピーターを増やしていくためにも、この制度を内外にもっとアピールしていく必要があります。今回この制度について特別シンポジウムを開催します。これ以外にも各種シンポジウムを開催しますので、多くの方に参加してほしいですね。

(聞き手 経済ジャーナリスト 阿部 和義)

「鉄道」と「観光」⑨

「鉄道と観光の歩み」ー4ー (昭和、大戦後)
J N協会副理事長 須田 寛 (J R東海相談役)

大戦後の観光が復活する動機のひとつは皮肉にも当時の占領軍の示唆であった。即ち外貨獲得のため外国人観光客を受け入れることと、そのための車両(寝台車、特別二等車等)の製造を指示。接收しているホテルの一部も外人観光客に利用させるとの意向を示した。又外国人観光客向けの英文の案内書、時刻表の発行も求められた。これらがきっかけとなり、一方鉄道の復旧も少しずつ進んできたことから各地の観光地も次第に活気を取り戻し鉄道と観光の「戦後」が始まるのである。

観光団体割引制度の復活、周遊券の復活、伊豆、南紀、日光等への観光列車の運転、各種観光きっぷの設定が相次ぎ、昭和30年頃までに鉄道と観光の関わりは戦前の水準に復元した。民鉄でも戦前になかった各社の観光特急(専用車両の新造、特急料金の収受)の運転と観光企画商品の発売が続いた。又観光バスの兼営、観光地の開発にも積極的に取組んだ。戦後の鉄道と観光の関係で特筆すべきことは、大阪万国博を機とする観光客の利用増加、国鉄のディスカバリージャパンと称する大型かつ全国的な観光キャンペーンの展開であろう。DJキャンペーンは万国博後も観光客を持続させると共に観光へのムードを幅広く盛り上げようとするもので、とくに地方の観光地への誘客に成功した。その後も続いて次々と大型キャンペーンを打ち出して観光施策の基盤づくりに努めた。フルムーンパス、青春18きっぷ等今に続く観光商品もこの頃の所産である。

この時期から鉄道と観光の関わりは新しい段階に入った。第一に端的に人々を観光に誘致するに先立って、人間の心のなかにある旅心ー観光する心を呼び起こすこと、即ち観光への共感を呼び起こすことを鉄道等交通機関側から働きかけたことである。第二に道路、空港の整ったことにあわせて鉄道が競争から脱皮して航空機、バス、自家用車等と連携して相互補完機能を果たすべく努力することであった。そして各地に、観光客に便利な総合交通システムを形成しようとするより幅の広い観光施策に取り組みはじめた。

次号は「新幹線」と「観光」について考えてみたい。

アメリカこぼれ話—2 6

「公民権運動家—ジャッキー・ロビンソン」
J N協会理事 北村 嵩（松陰大学教授）

ジャッキー・ロビンソンは「黒人初のメジャーリーガー」として有名である。しかし、彼が、人種平等に取り組むキング牧師が活躍する以前の公民権運動家であったことは余り日本では知られていない。

ジャッキーは1919年人種隔離の中心地ジョージア州で5人兄弟の末っ子として生まれた。祖父はアフリカから連れてこられた黒人奴隷で、父はシェークロッパー（契約小作人）であったが、彼が幼いときに父は家族を捨てて蒸発し、母は5人の子供たちをつれてカリフォルニアのパサデナに移り住み、白人家庭のメイドをして家族を支えた。

兄のマシューはベルリンオリンピックの200m走で銀メダルを獲得、ジャッキーもスポーツ万能で奨学金を得て高校、短大からU C L Aに進学し、将来妻になるレイチェルに出会った。U C L Aではアメフト、野球、バスケットなどで活躍したが、アメリカの第2次世界大戦参戦で42年に徴兵され、カンザス州のライリー基地で訓練を受けた。軍隊では様々な人種差別を受けたが、彼は積極的に待遇改善を要求し、時にはバスの人種隔離に抗議して上司の士官に反抗して軍法会議にかけられ、危うく不名誉除隊になりそうになった。満期除隊後は運動能力絶頂期のジャッキーでも黒人ゆえにプロの運動選手への道は厳しく、最良の代案として1945年に野球のニグロ・リーグ、カンザス・シティ・モナークスに入団して活躍、チーム最高打率345を記録しオールスターにも出場したが、ジャッキーは人種差別的な対応や環境に不満で馴染めなかった。しかし彼の成績がブルックリン・ドジャースの会長ブランチ・リッキーの目に留まり、密かに調査した結果、彼が常に人種差別に抗議する誇りと闘志を持っており、白人を不快にさせる危険もあるが、知的で雄弁、衆人監視の中でも緊張しない特質があることを買って彼をチームに参加させる決意をした。契約に際しリッキーがジャッキーに求めたことは、相手側の選手や観衆から侮辱を受けてもやり返さないということであった。1946年度ドジャースの傘下3 Aのモントリオール・ロイヤルズでプレーし相手選手の嫌がらせや妨害にもかかわらず、打率と打点でリーグ一位となり、チームのマイナー・リーグチャンピオン獲得に大きく貢献した。この活躍で翌47年にはメジャーに昇格するが、オーナー会議での反対、他球団からの対戦拒否、当初のチームメイトからの疎外など様々なトラブルがあった。しかし選手としては一塁手として活躍してチームは優勝し、この年から制定された新人王を受賞した。

この後、ジャッキーは10シーズンプレーして1957年に引退したが、生涯打率は3割1分1厘でチームの6回優勝、3回準優勝に貢献したことは、彼が28歳でチームに加わったことを考えれば、大変な偉業であった。この間、黒人選手の差別に抗議し、黒人選手と契約しないヤンキースを批判したりして、その頑固な直言癖と公民権運動に関する闘志が球界内外で批判と称賛的になった。引退後もキング牧師の熱心な支持者として公民権運動に積極的に参加し、1972年に53歳で死亡。

【会員募集】

都市の再生、観光振興、環境保全の市民活動に賛同する会員を募集しています。みなさんのご支援で観光振興を！
個人会員（1口5千円、複数口歓迎！）、団体会員（1口5万円）
東京都渋谷区代々木1－58－13小田急代々木ビル3階
JAPAN NOW観光情報協会（電話03－5304－9500）

誇り高きアイリッシュ

小田急電鉄（株） 特別社友 利光 國夫

前回本欄に書いた英国出張の時のことだが、もう一つ、いまだに忘れ難い思い出がある。ロンドン周辺を何か所も訪ねるに当たっては公共交通機関やタクシーを利用するのが割安ではあるが、所要時間などを勘案すると効率的ではないので運転手付きのリムジンを使うことになった。

当日の朝ホテルの玄関に出ると、リムジンがすぐ前にきており、運転手らしき小柄な中年の男がドアを開けて待っている。見ると苦虫を噛み潰したような顔で、こちらが「おはよう」と声をかけても、口の中で何やらぶつぶつ独り言のように呟くだけで無愛想なことおびたしい。途中で何か所か乗り降りする際も同様で、現地事務所の所長のK君に「あの男、我々が日本人だから気に食わないのかね」と訊くと「いや違いますね。彼は多分アイルランド人で、生活のためやむを得ず大猿の仲の英国で働いているのが面白くないんですよ」と言う。よく見ると男の上着の襟にはアイルランドの国旗を模した三色旗のバッジが刺してある。なるほど両国は不仲で、しばらく前には爆弾テロも何度か起きているのを思い出した。

私は学生時代アメリカ映画のファンで、特にアイリッシュのジョン・フォード監督の大ファンである。何か所目かの乗降の合間に「あんたはアイリッシュのようだが、俺はジョン・フォードがアイルランドにロケーションした映画『静かなる男』が大好きで、アイリッシュのモーリン・オハラも一番好きな女優なんだ」と話かけると、男は突然笑顔になって「俺もあれは大好きだ、最後の凄い殴り合い、覚えてるか」というのに応えて「勿論だ、俺はビデオでも何十回も見ている。いつかアイルランドに行ってロケーションしたあの酒場でビールを飲むのが夢だよ」と言う。それから男の態度は好転、夕方ホテルに帰着すると別れ際に自分の三色旗のバッジを私の上着の襟に刺して「ぜひ来いよ」と手を振りながら去って行った。

あれから幾星霜、まだアイルランドに行っていないが、あの男の笑顔を思い出すと胸がちくりと痛んでくる。

訪日観光客1000万人達成可能か？

中国は不振だが、東南アジアが好調

J N T O（日本政府観光局）によると、今年1～6月に日本を訪れた外国人客が495万5000人と、過去最高を記録し、このまま推移すると、今年は政府が目標にしている史上最高の1000万人達成が可能とみている。円安に加えL C C（格安航空）の普及が、主な理由のよう。

前年同期比でみると、中国がマイナス27％と唯一振るわないが、タイの53％、インドネシア50％などが大幅増加、ビザ条件緩和などで、さらに増える勢い。国別では韓国の132万人（38.4％増）が最大。

会員の投稿を歓迎～情報紙の充実を目指して！！

観光情報紙2013年09月号への個人、団体会員の投稿を歓迎します（400～500文字程度）。皆様のご意見を、どしどしお寄せ下さい。詳細は事務局まで。発行は2013年09月25日、投稿締め切りは、09月15日です。

佐渡の自然と観光を満喫

薪能を見学、J N協会で韓国での公演を企画

40年振りに佐渡を訪れた。記憶の中で佐渡の印象は自然がいっぱい。都会育ちの私が生まれて初めて見た「つくしん坊」にとっても感動したのを覚えている。そんな思いを胸に佐渡はどんなに変ったかと新潟から高速船で1時間少し。観光地として決して華美ではないけど変らぬ素朴な自然がそこにはあって私にはとても嬉しかった。佐渡と言えば、特別天然記念物「トキ」、世界遺産登録を目指す「佐渡金銀山」、「たらい舟」、「能舞台」など見所は沢山ある。2,000m級の高山植物が見られ日本の原風景が佐渡にはあると佐渡観光協会の加藤本部長は説明する。「とき」に関しては、とても大事に保護されていて、放鳥トキの観察場ではトキの生育環境を再現し巣作りからトキの飛び立ちまでが間近で観察できる。放鳥されたトキの為に、田んぼには農薬を使わず、そのため「トキ米」が生産されたりしている。

又、佐渡は能の大成者・世阿弥が流された地であり能文化が島人に浸透しそのため今も能舞台が30以上ある。今回春日神社の薪能を鑑賞した。300名ほどの観客で境内は埋め尽くされた。

お能と言えば退屈と思うが、やはり屋外でパチパチと火を焚き、その中で鑑賞すると時空を超えた世界に入り込み、「これぞお能」と肌で感じたのには不思議ささえ覚えた。

JN協会の会員で上越在住の三井企画の三井社長が、日本の伝統芸能である「能楽」を継承してい

なければいけないと、8年にわたり地元で「久比岐能」を開催している。小さい頃から「能楽」に触れてもらおうと中学生を招待しての活動だ。それではと、「能楽」を民間外交として韓国で公演する企画が持ち上がり、佐渡の観光誘致も組み込み経産省のクールジャパンの予算を申請することにした。J N協会として、このような協力も意義があることかと思う。

今年も4月から10月まで諏訪神社、本間家能舞台など佐渡中の能舞台で能楽公演が開催される。

問合せ：佐渡観光協会0259-24-1955
（理事 堤るり）



佐渡・相川 春日神社能舞台

C O L U M N
国際的に許可された立ちション

40年ほど前、一添乗員が経験した下品な話で恐縮である。バンコック国際空港の滑走路傍で航空会社公認の下に立ちションをしたことがある。搭乗していたラングーン（現ヤンゴン）行ビルマ航空機が滑走路上で離陸を待っていた時、理由も分からず突然滑走路が閉鎖された。離陸できずにそのまま滑走路で待機させられる羽目になった。周囲には夕闇が迫り南国の空も薄暗くなってきた。

時間の経過とともに、トイレに行きたいという乗客が現れたが、客席乗務員が機内トイレの使用を許してくれなかった。そのうちに連鎖反応だろうか、オレも私もトイレ希望者が続出した。乗務員はなぜかそれでも頑としてトイレを使わせてくれない。私も次第に尿意をもよおして放尿実行連盟代表となり乗務員に交渉したが埒があかず、トイレがダメなら外でやらせろと強談判した。その結果機外なら許すと言われた。乗客はB-727機の後部タラップから外へ出た。女性客はこっそりトイレを使わせてもらったようだ。男は全員一列に並んで夕暮れの滑走路傍で一斉に放水した。ス～とした何とも言えない満足感が強く印象に残っている。

だが、いま考えてもあの時どうして客室乗務員はトイレを頑なに使用させてくれなかったのか、仮に外で用をたすことが出来なかったらどうしただろうか、未だにあの滑走路傍の立ちションに到った経緯が腑に落ちない。

その10年後、今度はオランダの高速道路で渋滞に巻き込まれた。ドライバーからバス内で備え付けのバケツの中に処理しろと言われたが、女性客の強い抵抗に遭って往生し、ドライバーに相当なチップを手渡してバスを停めさせ、真っ暗闇の中を四方八方ちりじりに散って用を済ませた。

航空機にしろ、バスにしろ、異常事態の密室の乗り物内で尿意をもよおしたら、どういう行動を取るべきか。外が良いのか、室内であるべきか。やはり外の方が気持ち良く出来ると思うが、それには最低限の条件がある。他人には覗かれない場所で、しかも夕闇迫る頃合がベターである。（近藤節夫）